



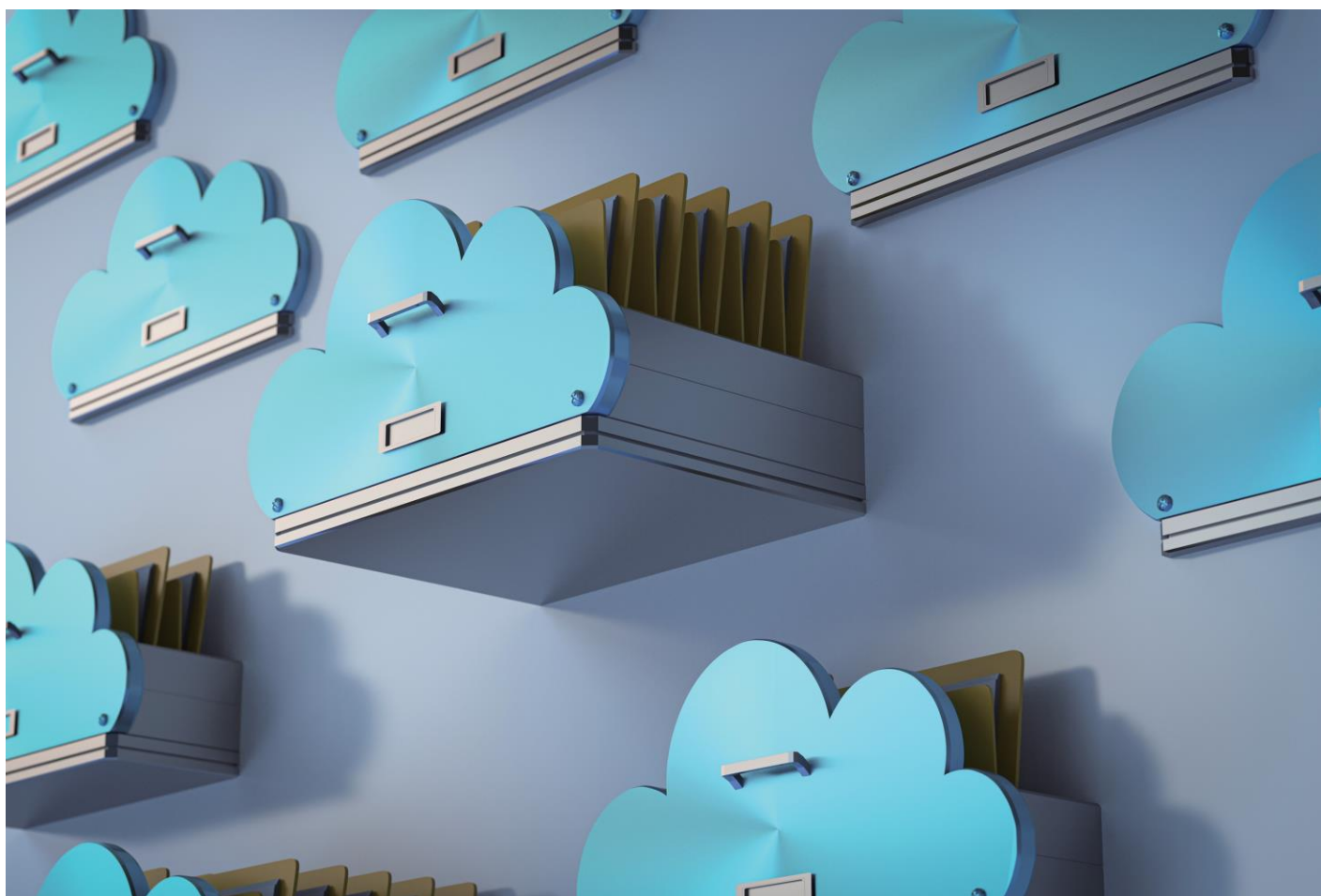
ファイルサーバで  
抱えるお悩みを



Microsoft Azure

が解決します！

Azureのファイルサーバの活用 徹底解説



# 2023年10月10日

Windows Server 2012 のサポートが終了します。  
もうまもなくです！

TD SYNEX は、  
Azure の導入・移行をご支援します！



## ファイルサーバ

### こんなことにお困りではないですか？

- データが増えすぎて容量がいっぱい
- 外出先やテレワーク先からファイルにアクセスができない
- BCP対策やセキュリティ、サーバ保守切れ対応・・・運用管理が大変
- 保守費、光熱費、DC利用料・・・運用コストがバカにならない

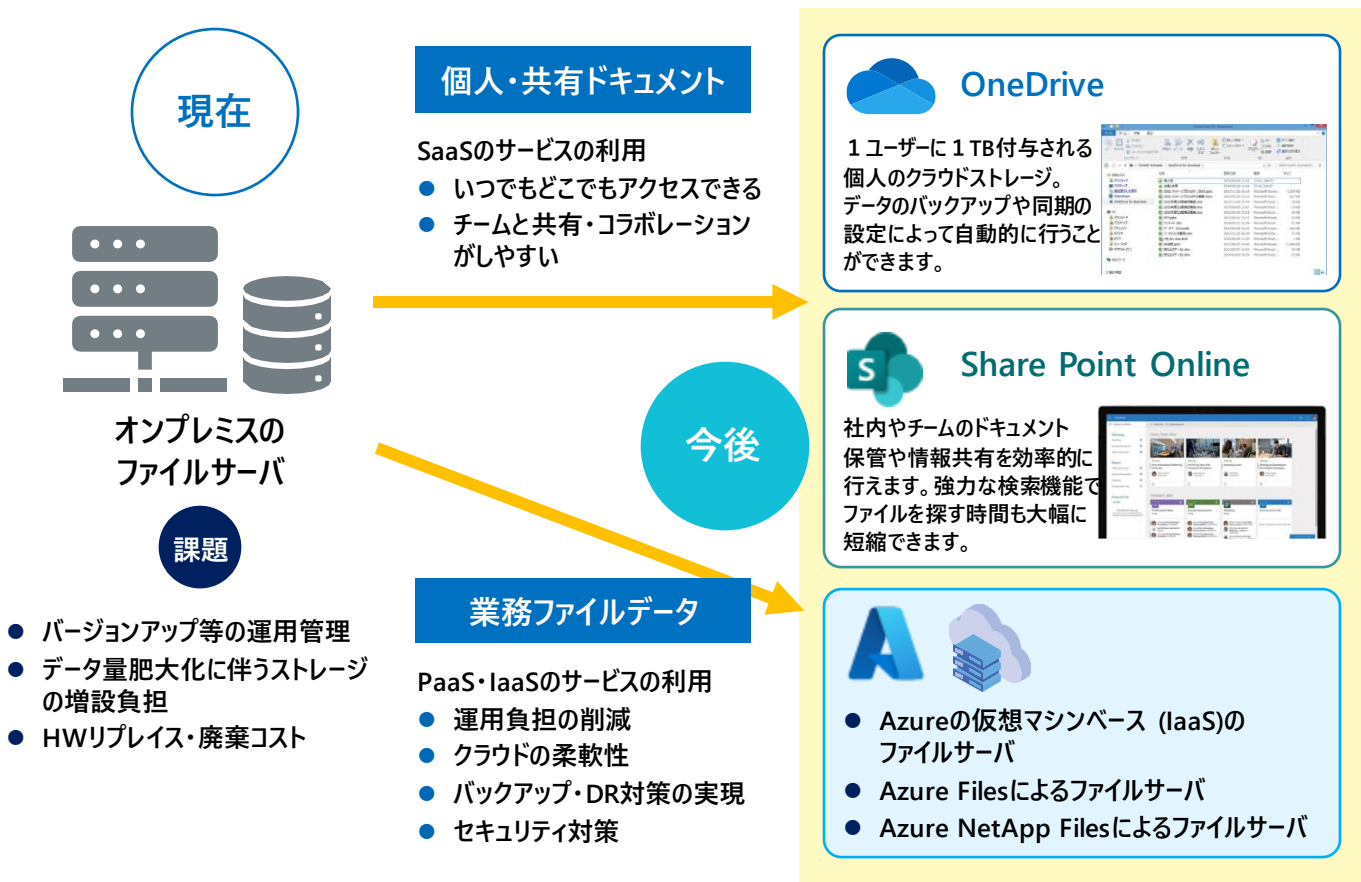


その悩み、ファイルサーバのAzureの活用で課題を解決しませんか



# これからのファイルサーバ

## Microsoft 365 と Azure の使い分けがおススメ



## Azureを利用したファイルサーバの3つの選択技と特長

Azure仮想マシンベースのファイルサーバ	Azureストレージ Azure Files によるファイルサーバ	Azure NetApp Filesによるファイルサーバ
<ul style="list-style-type: none"><li>● オンプレミスのファイルサーバをリフトアンドシフトによる移行を希望</li><li>● 既存のWindowsのファイルサーバと同じ運用をしたい</li><li>● Azure IaaS VMをベースにしたファイルサーバのため、IaaSで必要なVMの運用管理は必要</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 汎用のファイルサーバ向けのシナリオ</li><li>● Azure PaaSのフルマネージドなクラウドストレージサービスで、容易な運用管理</li><li>● エクスプローラーにドライブマップするなど、Windowsの共有フォルダと同じようにクラウドストレージを利用できる</li><li>● 設定で最大容量を制限することが可能。管理者が意図しない大容量データの収納による想定外の請求を防止できる</li><li>● Azure Files単体では、オンプレミスのファイルサーバのような使い方はしづらいが、Azure File Syncを利用して、マルチサイトのサクセスでのファイルの取出しやオンプレミスファイルサーバとの連携といったハイブリッドの活用やActive Directoryの連携も可能</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 高速なストレージ、高パフォーマンスを必要とするファイルサーバ向けのシナリオ</li><li>● Azure PaaSのフルマネージドのクラウドストレージサービスで、シンプルで容易な運用管理</li><li>● 豊富な管理機能を必要とするオンプレミスのエンタープライズNAS移行、SAP、HANAのような待機時間の影響を受けやすいワークロード、IOPSを多用するハイパフォーマンスコンピューティングで利用するワークロードなどでの利用</li><li>● Active Directoryと連携して、オンプレミスサーバのファイルサーバのように使える</li><li>● ストレージの最小容量は4 TiB~</li></ul>

# 本資料でご紹介するシナリオ

現在のファイルサーバ			Azureだと実現できる！	
シナリオ	課題	現状システム(例)	改善ポイント・メリット	構成の概要
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>HW保守・OSサポート切れ</li> <li>HWの障害対応が手間</li> <li>外出先からアクセスできない</li> </ul>	オンプレミスADサーバ オンプレミスファイルサーバ OS Windows Server 2012	<ul style="list-style-type: none"> <li>HW保守・障害からの解放</li> <li>OSサポート延長</li> <li>P2S VPNで外出先から接続可</li> </ul>	Azure VPN ストレージ VPN Gateway
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>HW障害の対応・メンテナンスが手間</li> <li>外出先から接続できない</li> </ul>	オンプレミスファイルサーバ 外付けHDD NAS	<b>小規模企業向け</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>HW障害の対応メンテナンスからの解放</li> <li>外出先からの接続</li> </ul>	Azure Files ストレージアカウントキー
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>HW障害の対応・メンテナンスが手間</li> <li>外出先から接続できない</li> </ul>	オンプレミスADサーバ オンプレミスファイルサーバ 外付けHDD	<b>オンプレミスActive Directory 導入済み中堅中小企業向け</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>HW障害の対応メンテナンスからの解放</li> <li>既設のオンプレミスActive Directoryでユーザー認証</li> </ul>	Azure Files Azure Private Link
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害時に復旧ができない</li> </ul>	オンプレミスADサーバ オンプレミスファイルサーバ OS Windows Server	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドに同期して災害時に再構成</li> <li>事業継続と災害対策を実現</li> </ul>	オンプレミスファイルサーバ (通常時運用) オンプレミスファイルサーバ (災害時新規) Azure File Sync同期
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>容量が足りない</li> </ul>	オンプレミスADサーバ オンプレミスファイルサーバ OS Windows Server	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用頻度の少ないファイルを自動でクラウドに移して空き容量を確保</li> </ul>	オンプレミスファイルサーバ (流用) Azure Files Azure File Sync断層化
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数拠点間での共有不足</li> </ul>	オンプレミスADサーバ オンプレミスファイルサーバ OS Windows Server	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドに同期して複数拠点でファイル共有</li> </ul>	オンプレミスファイルサーバ (流用) Azure File Sync同期
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルサーバのパフォーマンス不足</li> </ul>	オンプレミスADサーバ オンプレミスファイルサーバ OS Windows Server	<ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンス向上</li> </ul>	Azure NetApp Files VPN Gateway ExpressRoute ワークロードAzure移行
番外編	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルの検索が難しい</li> <li>社外とのファイル共有ができない</li> <li>社内で共同編集ができない</li> </ul>	オンプレミスファイルサーバ NAS	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内社外でファイル共有</li> <li>チーム内での共同編集で作業効率もアップ</li> </ul>	Share Point Online OneDrive for Business

## シナリオ

# 1

VPN必須

### 現在の環境や課題

#### 課題

- HW保守・OSサポート切れ
- HWの障害対応が手間
- 外出先や在宅からアクセスできない

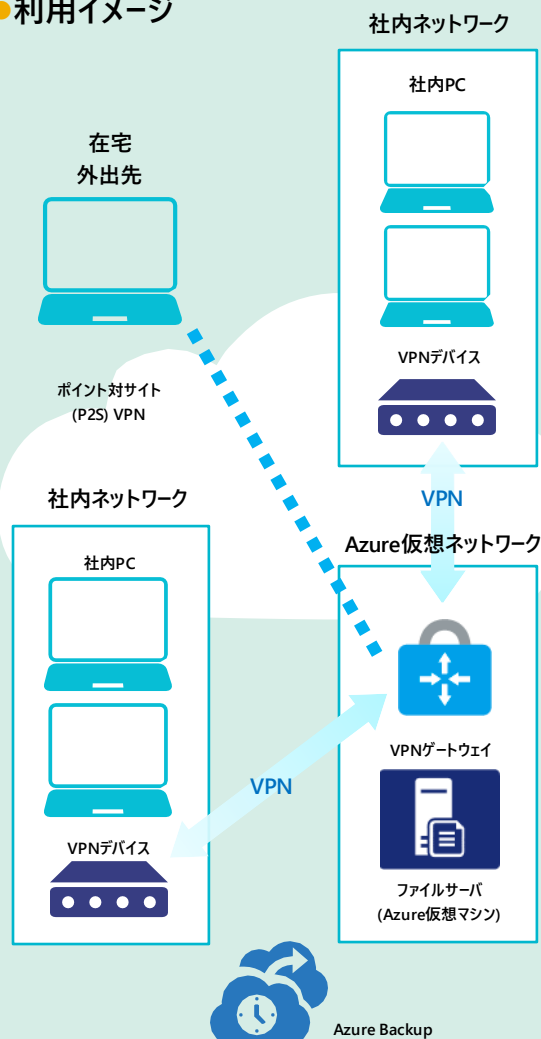
#### 現状システム (例)

オンプレミスADサーバ  
オンプレミスファイルサーバ  
OS Windows Server

## Azure 仮想マシンベースのファイルサーバで実現！

- ☑ HW保守・OSサポート切れのファイルサーバを使い続けており、リプレースを考えているお客様必見！
- ☑ HW保守、障害対応からの解放
- ☑ 外出先や在宅勤務でもファイルサーバにアクセスできる！
- ☑ 従来のオンプレミスファイルサーバの運用に慣れているため、運用は大きく変えたくない！

### ● 利用イメージ



Azureサービス	個数(単位)	料金(月額)
Azure仮想マシン Windows Standard D2v5 (2Core, メモリ8G)	1 (27,7164円/時間)	20,233円
ストレージ Standard HDD Managed Disk S10 (容量128GB, OSディスク)	1 (755,53円/月)	756円
ストレージ Standard HDD Managed Disk S30 (容量1024GB, データディスク)	1 (5,255.83円/月)	5,256円
Azure バックアップ インスタンスサイズ	3 (1,283円/500GB)	3,851円
Azure バックアップ バックアップストレージ ブロック BLOB LRS	1,151GB (2,8743円/GB)	3,309円
Azure バックアップ インスタントリストア スナップショット Managed HDD ※5%増分想定	58GB (6,4158円/GB)	373円
VPN Gateway VpnGw 1	1 (24,380円/時間)	17,798円
VPN Gateway VpnGw 1 S2Sトンネル	1 (~10:無料、11~30: 1トンネルあたり1,926 円/時間)	0円~
帯域幅 ※ Azureデータセンターから出て行くデータ通信のみ課金。システムの利用者数や取り扱うデータによって大きく左右されます。	5GB (~5GB:無料、5G~ 10TB: 15,3979円/GB)	0円~
概算金額 (月額)		51,575 円~

※ 東日本リージョン、ストレージ1TBの容量で算出した場合

### Notes

- Azure 仮想マシンで構築するファイルサーバではVM選択肢 (Windows, Linux) が豊富
- Azure Marketplace イメージ又は独自のカスタマイズされたイメージから選択可能
- 性能や台数の変更によるスケジュールアップとスケールダウンが柔軟に対応可能
- ディスクの種類：Standard HDD、Standard SSD、Premium SSD、Ultra SSDから選択可能
- Azure Backupによる自動バックアップを構成に入れて、バックアップ対策も安心



## シナリオ

# 2

小規模企業様向け

### 現在の環境や課題

課題

- HWの障害対応・メンテナンスが手間
- 外出先からアクセスできない

現状システム  
(例)

オンプレミスファイルサーバ  
外付けHDD

## Azure Filesによるファイルサーバ + Azureストレージキーによる認証で実現！

- ☑ HW保守・OSサポート切れのファイルサーバを使い続けており、リプレースを考えているお客様必見！
- ☑ HW保守、障害対応からの解放だけでなく、OSのバッチ適用といったメンテナンスからも解放！
- ☑ 外出先や在宅勤務でもファイルサーバにアクセスできる！
- ☑ オンプレミス Active Directoryを持たない個人事業主や小規模ユーザー向け

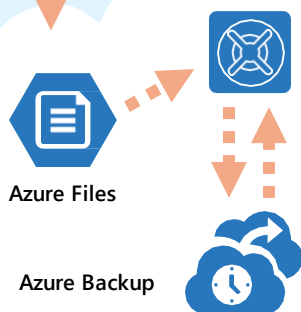
### ●利用イメージ



- Windows
- Mac
- Linux

SMB (暗号化)

共有スナップショット



Azure Files

Azure Backup

Azureサービス	個数(単位)	料金(月額)
Azure Files トランザクション最適化LRS	1,024GB (7,4円/GB)	7,400円
Azure Files トランザクション最適化LRS (スナップショット用)	1,024GB (7,4円/GB)	7,400円
Azure Files トランザクション書き込み・一覧表示操作・読み取り操作。その他のすべての操作	10,000件利用の場合 (4,06円 /10,000件)	5円～
Azure バックアップ インスタンスサイズ (インスタンスは50GB以下の場合)	1 (613,5500円 + 使用したストレージ)	615円 + 使用したストレージ
帯域幅 5GB (~5GB:無料、5G~10TB: 13,8721円/GB)		※Azureデータセンターから出て行くデータ通信のみ課金。システムの利用者数や取り扱うデータによって大きく左右されます。
Microsoft Defender for Storage	2,45円/10,000件のトランザクション	
概算金額 (月額)		15,500 円～

※東日本リージョン、ストレージ1TBの容量で算出した場合

### Notes

- SMB通信で保存・転送を行うため、シンプルかつ安全なファイルストレージで、Windows端末だけでなく、Mac OSやLinux OSのマシンからもアクセス可能。
- ストレージはデフォルトでLRS (同じリージョン内での3重の冗長化)、オプションでZRS (ゾーン冗長ストレージ)、GRS (地理的冗長ストレージ) による冗長化が可能。
- Azureストレージアカウントキーによる認証の場合、企業内のすべてのユーザーが同一の1つのキーで認証を行うため、会員が同じデータへアクセスする (ユーザーごとのファイルへのアクセス制御が不可)
- Azure Filesの共有スナップショット機能は、過去の特定の時点のデータの読み取り専用コピー。ユーザーは、REST APIやスクリプトによる自動化などの管理で共有スナップショットと使って、ファイル共有の以前のバージョンにデータを戻すことができる。Azure Backupを利用すれば、Azure Filesポータルからバックアップ対策や過去のバージョンの復元も直接管理する構成も可能。
- Microsoft Defender for Storageを構成に入れて、Azure Filesのマルウェア対策も安心。

## シナリオ

# 3

オンプレミス  
Active Directory  
導入済中堅・  
中小企業様向け

VPN必須

### 現在の環境や課題

#### 課題

- HWの障害対応が手間
- HW保守・OSサポート切れ
- OSバッチ適用が手間

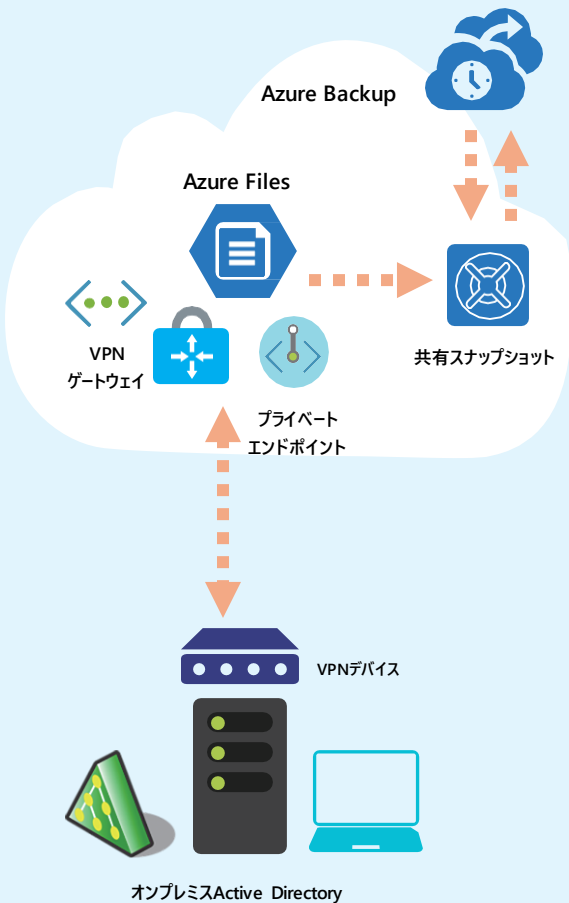
#### 現状システム (例)

オンプレミスファイルサーバ  
OS Windows Server

## ユーザー認証はオンプレミスActive Directoryを流用して、Azure Files + Private Linkでプライベートアクセスを実現！

- ☑ 既設のオンプレミスActive Directoryでユーザー認証
- ☑ HW保守・OSサポート切れのファイルサーバを使い続けており、リプレースを考えているお客様必見！
- ☑ HW保守、障害対応から解放だけでなく、OSのバッチ適用といったメンテナンスから解放！

### ●利用イメージ



Azureサービス	個数(単位)	料金(月額)
Azure Files トランザクション最適化LRS	1,024GB (7,4円/GB)	7,400円
Azure Files トランザクション最適化LRS (スナップショット用)	1,024GB (7,4円/GB)	7,400円
Azure Files トランザクション書き込み・一覧表示操作・読み取り操作。その他のすべての操作	10,000件利用の場合 (4,06円/10,000件)	5円～
Azure バックアップ インスタンスサイズ (インスタンスは50GB以下の場合)	1 (613,5500円 + 使用したストレージ)	615円 + 使用したストレージ
Private Link (プライベートエンドポイント)	1 (1,227円/時間)	896円
Private Link 送受信データ処理量	5GB～1PB (1,227円/GB)/ 送信・受信	20円 (5GB想定)
VPNゲートウェイ/VpnGw1 (VPN接続)	1 (23.31円/時間)	17,000円
VPNゲートウェイ/VpnGw1 (S2Sトンネル)	～10:無料、11～30: 1トンネルあたり1,84円/ /時間)	0円
Microsoft Defender for Storage	2,45円/10,000件のトランザクション	
概算金額 (月額)		<b>34,000 円～</b>

※東日本リージョン、ストレージTBの容量で算出した場合

### Notes

- Azure Private Linkとは、AzureのPaaSサービスにプライベートIPアドレスで接続（閉域接続）ができるサービス。
- Azure Backupでバックアップ対策も、Defender for Storageを構成に入れて、マルウェア対策も安心。

シナリオ

4

現在の環境や課題

課題

- 災害時に復旧ができない

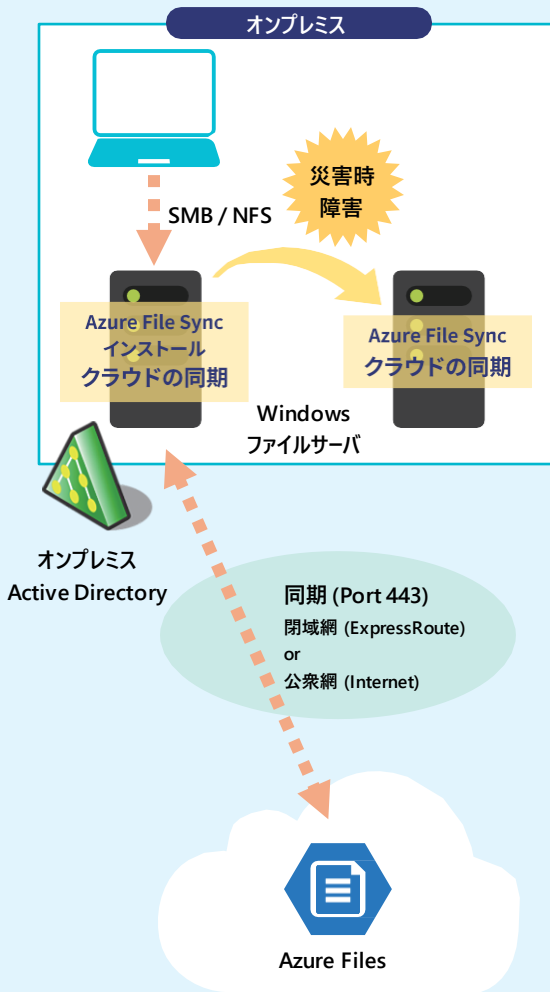
現状システム  
(例)

オンプレミスファイルサーバ  
OS Windows Server

オンプレミスのWindowsファイルサーバの災害対策を  
Azure Files + Azure File Sync (同期)で実現！

- ☑ 既設のオンプレミスの災害対策・復旧対策をまだ講じていないお客様必見！
- ☑ 既設のオンプレミスActive Directoryで従来のユーザー認証を利用できる！
- ☑ Azure File SyncでオンプレミスのWindowsファイルサーバとAzure Filesのクラウドのデータを同期できる

● 利用イメージ



Azure サービス	個数 (単位)	料金 (月額)
Azure Files トランザクション最適化LRS	1,024GB (7,4円/GB)	7,400円
Azure Files トランザクション書き込み・一覧表示操作・読み取り操作・その他のすべての操作	10,000件利用の場合 (4,06円/10,000件)	5円～
Azure File Sync 同期サーバ ※ストレージ同期サービスごとに1台の同期サーバが無料	1 (930,19円/サーバ)	0円
帯域幅 ※ Azureデータセンターから出て行くデータ通信のみ課金。システムの利用者数や取り扱うデータによって大きく左右されます。	5GB (～5GB:無料、5G～10TB: 15,3979円/GB)	0円～
概算金額 (月額)		<b>7,405 円～</b>

※ 東日本リージョン、ストレージ1TBの容量で算出した場合インターネット接続の想定、ExpressRouteでの接続の場合は別途料金がかかります。  
(参考：従量制課金データプラン100Mbps 12,833 円/月)

Notes

- Azure File Syncを使用すると、Windowsファイルサーバの柔軟性、パフォーマンス、交換性を維持しながら、Azure Filesに組織のファイル共有を一元化できます。
- データの完全なコピーをローカルの保持することを選択する方法もありますが、Azure File Syncを使用すると、さらにWindowsサーバをAzureファイル共有の高速キャッシュに変換することができます。SMB、NFS、FTPSなど、Windows Server上で利用できるあらゆるプロトコルを使用して、データにローカルにアクセスできます。
- キャッシュは、世界中にいくつでも必要に応じて設置することができます。



## シナリオ

# 5

### 現在の環境や課題

#### 課題

- 容量が足りない

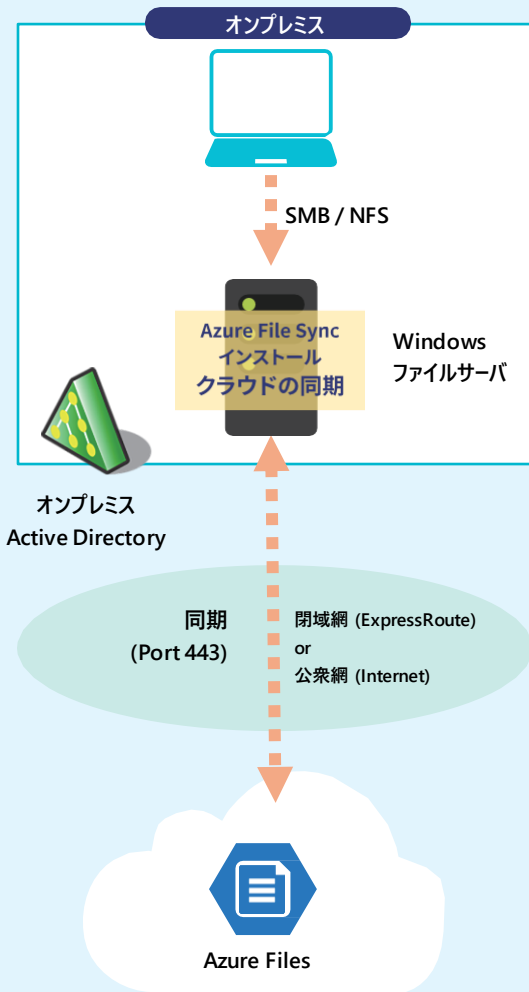
#### 現状システム (例)

オンプレミスファイルサーバ  
OS Windows Server

## オンプレミスのWindowsファイルサーバを生かしながら、Azure Files + Azure File Sync (階層化)で容量不足を解消！

- ☑ 日々増え続けるデータ容量でファイルサーバの拡張を検討しているお客様必見！
- ☑ 既設のオンプレミスActive Directoryで従来のユーザー認証を利用できる！
- ☑ Azure File Syncの「クラウド階層化」機能を使って、利用頻度の少ないファイルを自動でクラウドに移して、オンプレミスの空き容量の確保を実現！

### ●利用イメージ



Azureサービス	個数 (単位)	料金 (月額)
Azure Files トランザクション最適化LRS	1,024GB (7,4円/GB)	7,400円
Azure Files トランザクション書き込み・一覧表示操作・読み取り操作・その他のすべての操作	10,000件利用の場合 (4,06円/10,000件)	5円～
Azure File Sync 同期サーバ ※ストレージ同期サービスごとに1台の同期サーバが無料	1 (930,19円/サーバ)	0円
帯域幅 ※ Azureデータセンターから出て行くデータ通信のみ課金。システムの利用者数や取り扱うデータによって大きく左右されます。	5GB (～5GB:無料、5G～10TB: 15,3979円/GB)	0円～
概算金額 (月額)		<b>7,405 円～</b>

※ 東日本リージョン、ストレージ1TBの容量で算出した場合インターネット接続の想定、ExpressRouteでの接続の場合は別途料金がかかります。  
(参考：従量制課金データプラン100Mbps 12,833 円/月)

### Notes

- Azure File Syncをのオプション機能であるクラウドを使った階層化により、アクセス頻度の高いファイルのみがローカルサーバに格納され、オンプレミスのファイルサーバのパフォーマンスを維持しながら、必要なローカルストレージの量を減らすことができる (ボリュームの空き領域ポリシー及び日付ポリシー2つのポリシーで、Azure File Syncのエージェントごとに設定可能)
- ユーザーが階層化されたファイルを開くと、Azure File SyncによってAzure Filesのファイル共有からのファイルデータがシームレスに呼び戻されます。

シナリオ

6

現在の環境や課題

課題

- 複数拠点での共有が不便

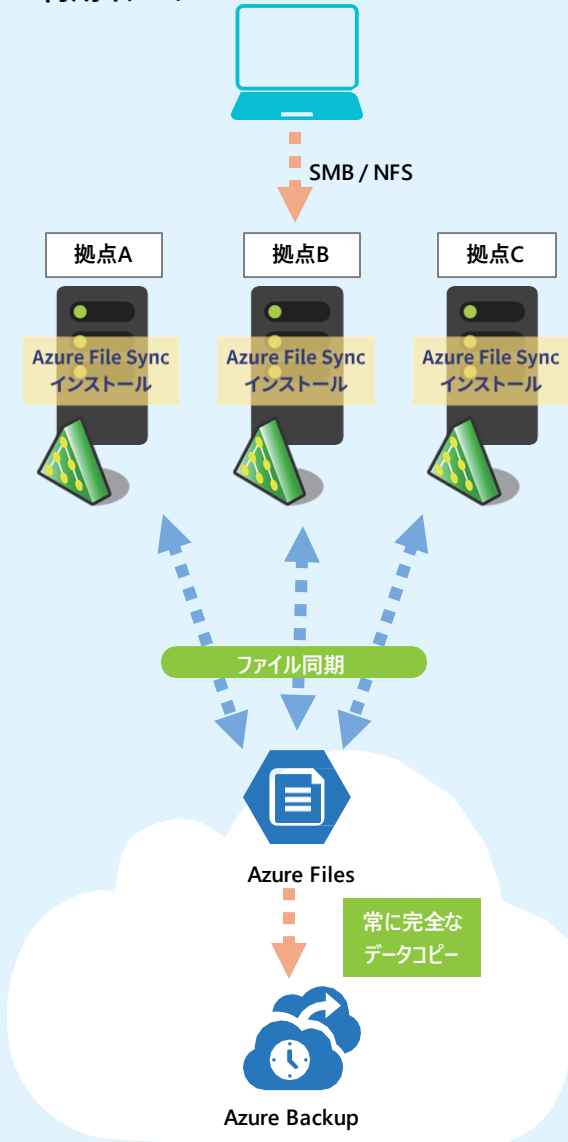
現状システム  
(例)

オンプレミスファイルサーバ  
OS Windows Server

複数拠点でファイル共有を実現！  
Azure Files + Azure File Sync (同期)

- ☑ 複数拠点でファイル共有を実現したいお客様必見！
- ☑ 既設のオンプレミスActive Directoryで従来のユーザー認証を利用できる！
- ☑ Azure File Syncのクラウド同期を利用すれば、複数拠点でのファイル共有を実現できます！

● 利用イメージ



Azureサービス	個数(単位)	料金(月額)
Azure Files トランザクション最適化LRS	3,072GB (7,4円/GB)	23,652円
Azure Files トランザクション最適化LRS スナップショット	3,072GB (7,4円/GB)	23,652円
Azure Files トランザクション書き込み・一覧表示操作・読み取り操作・その他のすべての操作	10,000件利用の場合 (4,06円/10,000件)	5円～
Azure File Sync 同期サーバ ※ストレージ同期サービスごとに1台の同期サーバが無料	3 (930,19円/サーバ)	1,860円
Azure バックアップ インスタンスサイズ (インスタンスは50GB以下の場合)	1 (613,5500円 + 使用したストレージ)	615円 + 使用した ストレージ
帯域幅 ※ Azureデータセンターから出て行くデータ通信のみ課金。システムの利用者数や取り扱うデータによって大きく左右されます。	5GB (～5GB:無料、5G～ 10TB: 15,3979円/GB)	0円～
概算金額 (月額)		<b>49,800 円～</b>

※ 東日本リージョン、3 拠点に 3 台のサーバ、各サーバのストレージ 1 TBの容量で算出した場合

## シナリオ

# 7

### 現在の環境や課題

#### 課題

- ファイルサーバのパフォーマンス不足

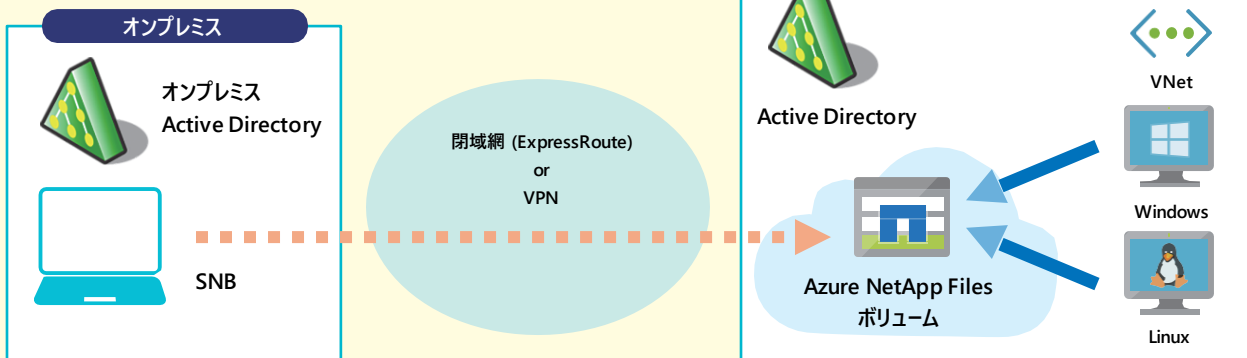
#### 現状システム (例)

オンプレミスファイルサーバ  
or  
Azure ファイルサーバ

## 高速なストレージ、高パフォーマンスを必要とするファイルサーバをAzure NetApp Filesで実現！

- ☑ ファイルサーバのパフォーマンス不足を感じているお客様必見！
- ☑ 既設のオンプレミスActive Directoryで従来のユーザー認証を利用できる！
- ☑ ストレージ、は最小4TB～
- ☑ Azure NetApp Filesは、SAP HANAやAVD、ハイパフォーマンスコンピューティングなどのワークロードのファイルストレージとして利用されることがあります。

### ● 利用イメージ



Azureサービス	個数 (単位)	料金 (月額)
Azure NetApp Files Premium Storage	4,096GB	185,316円
ExpressRoute 従量制課金データプラン 100Mbps	1	12,832円
Azure File Sync 同期サーバ ※ストレージ同期サービスごとに1台の同期サーバが無料	1 (21,965円/時間)	17,800円
帯域幅	5GB (6,417円/GB)	32円～
概算金額 (月額)		<b>216,000 円～</b>

※ 東日本リージョン、データ容量はNetApp Filesの最小容量4TBを想定

### Notes

- Azure NetApp FilesはNetAppのONTAPというストレージ用のOSを基盤としたサービスで、オンプレミス用のNetAppストレージとの高い交換性やオンプレミスと同等のパフォーマンスを実現。
- 300,000 IOPS/ボリュームでIOPSを多用するハイパフォーマンスコンピューティングで利用するワークロードなどで活用。
- ストレージは3種類から選択可能 Standard Storage：プロビジョニングされた1TiBの容量あたり、最大16TiB/sのスループット、Premium Storage：プロビジョニングされた1TiBの容量あたり、最大64TiB/sのスループット、Ultra Storage：プロビジョニングされた1TiBの容量あたり、最大128TiB/sのスループット

## Microsoft 365とAzureの使い分けがおすすめ

## 現在の環境や課題

## 課題

- ファイルの検索が難しい
- 社外とのファイル共有ができない
- 社内でも共同編集ができない

現状システム  
(例)

オンプレミスファイルサーバ  
NAS

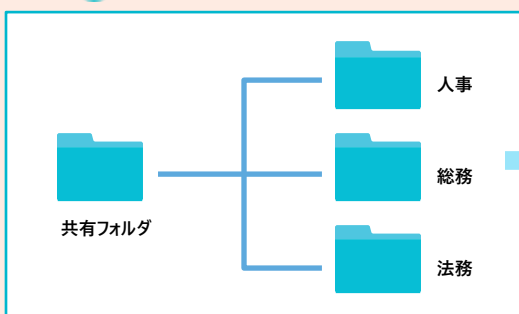
Share Point Onlineの活用で生産性アップ  
ファイルの検索や共同編集が容易！

- ☑ スマートフォンからアクセスでき、外出先からのファイルの確認も容易に
- ☑ 個人フォルダ・共有フォルダもPC上に同期ができる
- ☑ 削除したファイルは30日以内であればゴミ箱からユーザーが復元できる！
- ☑ 使用頻度の高いファイルをすぐに検索
- ☑ 社外とのファイル共有も可能に
- ☑ ファイル編集もチームメンバーと同時に共同で行うことが可能
- ☑ Share Pointの容量は1TB + ユーザー数 x 10GB
- ☑ Teamsとの連携してユーザーの利便性を上げる活用方法も！

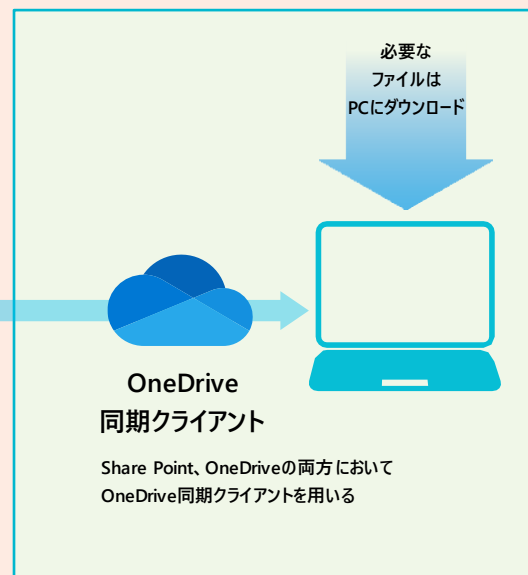
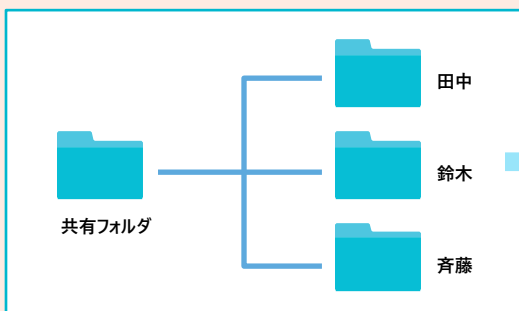
## ● 利用イメージ



## Share Point Online



## OneDrive for Business



※ 容量制限があります（1サイトコレクション = 25TB）。  
※ 利用不可文字、文字制限があります。

# Azure BackupでオンプレミスもAzure上のVMも安心バックアップ

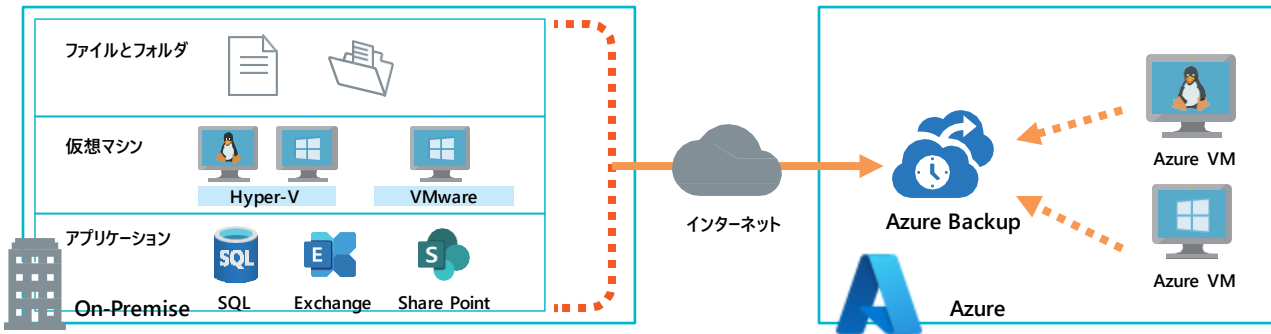
日常ではほとんど利用することの無いバックアップをクラウドに持って行くことでコスト削減。Azureの仮想マシンだけでなく、オンプレミスのバックアップも実現できる。

## Azure Backupの主なメリット

- ☑ ファイル/ディレクトリ単位でバックアップおよびリストアができる
- ☑ Windows製品との高い親和性
- ☑ 高拡張性・高可用性・高セキュリティ
- ☑ オンプレミス連携でハイブリッドクラウド環境を簡単実現
- ☑ 増分バックアップをサポート
- ☑ 9,999世代分の長期保存に対応。頻度は1日最大3回、日次、週次のバックアップが可能。(日次1回バックアップの場合約27年)
- ☑ Azureへのデータ転送量とデータ復元の際の転送量ともに無料

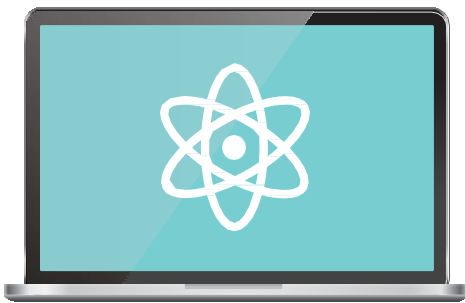
データ容量	対象	料金 (月額概算)
500MB	LRS	2,721 円
	GRS	4,158 円
1TB	LRS	5,441 円
	GRS	8,316 円
10TB	LRS	54,410 円
	GRS	83,155 円

※ Azure Backupの価格は、保護されたインスタンスのサイズごとと、バックアップされたデータのサイズによって価格が決まります。



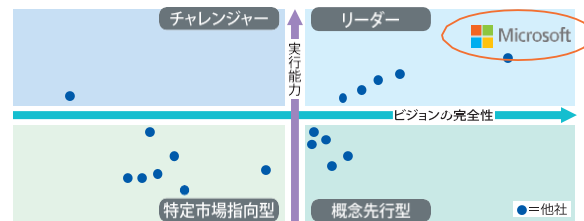
## Azureのマルウェア対策

### セキュリティベンダーのマルウェア対策を利用する



Azure VMでは、Microsoft、Symantec、Trend Micro、Kasperskyなどのセキュリティベンダーのマルウェア対策ソフトウェアを使用できます。Azure 仮想マシンベースのファイルサーバではこの対策が実現可能です。

### AzureでMicrosoft Defenderを構成する



Microsoft Defenderは、市場で最高のエンドポイントセキュリティソリューションのひとつとしてガートナーに指定されています。AzureではMicrosoftのその高度なマルウェアの保護を構成することができます。

リソースの種類	料金
Microsoft Defender for Servers	1,874円/サーバ/月 含まれるデータ500MB/日
Microsoft Defender for Storage*	2,567円/10,000件の トランザクション

※ Azure Filesは for Storageで保護可能



# TD SYNnex ではネットワークのご提案も可能です。

## おすすめ Azure 対応VPNデバイス機器

### WatchGuard社 FireBox シリーズ

#### ● 特徴

##### ① 高セキュリティ性を保ちつつ、高速通信が可能（他ベンダー比）

マルチコアプロセッサの採用により、通信速度を犠牲にすることなく総合脅威管理 (UTM)の運用を実現

##### ② 導入/初期設定が簡単

導入/設定支援ツールを介し、事前に作成した設定ファイルをクラウド上に保存可能。HW設置後にインターネットに接続するだけで設定を自動化

##### ③ ポリシーとネットワークの管理が簡単

集中管理に重点を置いて設計されており、セキュリティの脅威、問題及び傾向を即座にビッグデータとして可視化、レポート化が可能



#### ■ スペックについて

- ・製品シリーズに関わらずセキュリティ機能や対応プロトコルは同じ
- ・スループットに差があるため、要件により要検討

### Fortinet社 FortiGate シリーズ

#### ● 特徴

##### ① 日本のUTM市場シェアNo.1

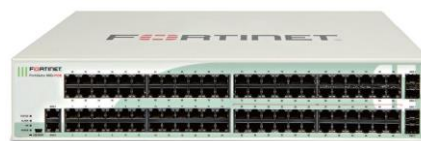
一貫した自社開発機能を多数搭載、グローバルでは政府機関も採用

##### ② 世界規模のセキュリティ研究体制に基づく強固なセキュリティを実現

日本を含む世界に設けられたセキュリティラボから最新のシグニチャを定期的に配信

##### ③ 管理・操作が簡単

ネットワークの状態が視覚的に表現されており、GUIでの管理が可能  
マニュアルも完備



#### ■ スペックについて

- ・製品シリーズに関わらずセキュリティ機能や対応プロトコルは同じ
- ・スループットに差があるため、要件により要検討

### NEC社 IX シリーズ / WA ルータ

#### ● 特徴

##### ① 高性能国産ルータ

NEC社製VPN対応高性能ルータ

##### ② クラウド管理

無料でクラウドから管理可能（サーピス名：NetMeister）

##### ③ モバイルネットワーク対応

SIM搭載可能。キャリアのLTE網経由でネットワーク接続 (WAルータ)



#### ■ スペックについて

- ・WAルータ：SIM搭載可能
- ・モデルによってEthernetのポート数やスループットに差があるため、要件により要検討

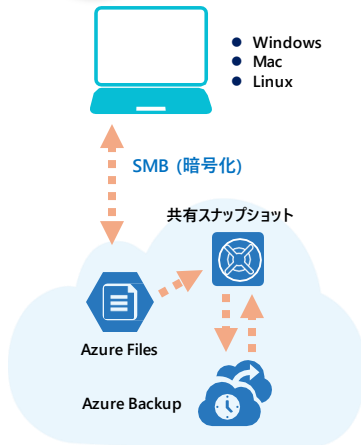
# TD SYNEX の Azure の導入・移行支援のご紹介

## 本パッケージに限らず、個別要件に応じて、カスタマイズでのご提案も可能です！



### 小規模企業様向け

**Azure 導入設定移行サービス：参考価格 (税抜) 650,000 円～**



導入設定・移行サービス内容	
Azure 初期設定	RBAC、AdminのMFAの設定
Azure Files 構築	Azure Files デプロイ
データ移行	本価格では 1 TBの移行を想定
バックアップ設定	Azure Backup (共有スナップショットの設定含む)
Microsoft Defender for Cloud	Microsoft Defender for Storageの構成 1 サブスクリプションに付き
操作マニュアル	Azure Portal
	リソースグループ
	仮想ネットワーク
	Azure Files
	Azure Recovery Service Vaults

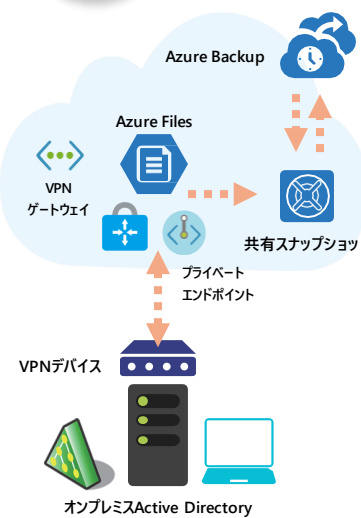
#### 前提条件について

- Azureストレージアカウントキーによる認証の場合、企業内のすべてのユーザーが同一の1つのキーで認証を行うため、全員が同じデータへアクセスする前提の構成（ユーザーごとのファイルへのアクセス制御は不可）です。IDベースのアクセス制御には対応しません。
- 要件、設定値は、ヒアリングシートにて決定いたします。クライアントの設定は含みません。
- 作業にあたり、インターネット接続ができること、接続するクライアントおよびネットワークでポート445が開いていること、OSでサポートされるSMBバージョンが3.0以上であることが前提になります。
- 移行ファイルの容量は 1TBを上限としております。1TB以上となる場合は別途お見積りいたします。
- バックアップの設定は、Azure Files 全体をバックアップ対象とし、フォルダまたはファイルごとの設定は本価格では含みません。



### オンプレミス Active Directory 導入済み中堅中小企業様向け

**Azure 導入設定移行サービス：参考価格 (税抜) 1,500,000 円～**

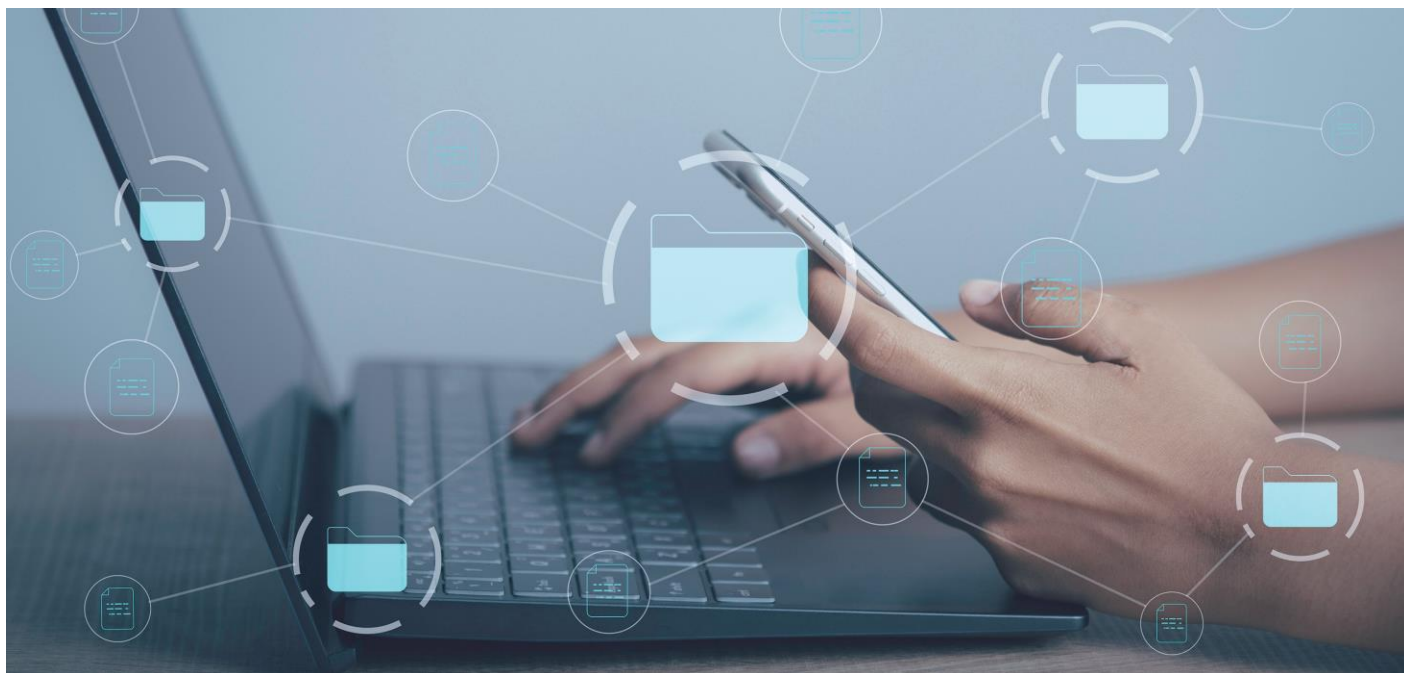


導入移行サービス内容	
Azure 初期設定	RBAC、AdminのMFAの設定
Azure 仮想ネットワーク構築	vNet VPN Private LINK (Private Endpoint)
Active Directory 認証の有効化	
Azure Files 構築	Azure Files デプロイ
データ移行	1TBまで
バックアップ設定	Azure Backup
Microsoft Defender for Cloud	Microsoft Defender for Storageの構成 1 サブスクリプションに付き
操作マニュアル	Azure Portal
	リソースグループ
	仮想ネットワーク
	Azure Files
	Azure Recovery Service Vaults

#### 前提条件について

- 要件、設定値は、ヒアリングシートにて決定いたします。クライアントの設定は含みません。
- 1回のオンサイト作業（既存オンプレミス Active Directoryとの連携作業）を含みます。宿泊がかかるケースは別途実費がかかります。作業は Active Directory メンバー を借用して操作します、Windows Server 2016 以上のサーバ、または、Windows 10 以上のクライアントで Powershell 5以降がインストールされたマシンのご準備をお願いします。
- オンプレミスとの接続は、VPN接続を前提としています。ExpressRoute 接続の場合は別途お見積りとなります。作業範囲はAzure側の設定に限ります。オンプレミス側のデバイス設定・回線等の作業や設定は含みません。
- 作業にあたり、インターネット接続ができること、接続するクライアントおよびネットワークでポート445が開いていること、OSでサポートされるSMBバージョンが3.0以上であることが前提になります。
- 移行ファイルの容量は 1TBを上限としております。1TB以上となる場合は別途お見積りいたします。
- バックアップの設定は、Azure Files 全体をバックアップ対象とし、フォルダまたはファイルごとの設定は本価格では含みません。

モダンで柔軟な、インフラテクノロジーを手に入れて、ビジネスを加速させましょう。



## Azure の導入検討をお手伝いします。

どのクラウドストレージサービスを利用するのがいいのか・・・

**サービス選定から  
アドバイスします！**



トレンドや他社事例等を踏まえ、御社の業務に最適なサービス、必要な性能をご提案します。

従量課金だと結局いくらかかるかわからず予算化できない・・・

**想定費用の算出をお手伝いします！**



システム用途や必要スペックをいただければ、Azure での推奨構成を作成し、月額の想定費用を可視化します。

移行や導入構築は自社でできないが・・・契約後の技術サポートは受けられるのか？

**利用開始をご支援します！**



豊富な実績をもったパートナーによる移行・構築サービスもご提案できます。Azureをご契約いただいたEU様には、別売りの有償サポートもご提供できます。

※本資料で表示のAzureの価格は2022年5月時点のものです。Azureの使用料は、為替により変動します。



TD SYNnex株式会社

〒135-8559 東京都江東区東陽6-3-1 東京イースト21 ビジネスセンター2F

● 本サービスに関するお問い合わせ  
TD SYNnex株式会社 Microsoft CSP 問い合わせ窓口  
Jp\_microsoftcsp@tdsynnex.com

StreamOne® Stellr  synnexjp  synnexjp

● 掲載されている社名又は製品名は、各社の商標又は登録商標です。 ● ©2022 TD SYNnex Corporation